

令和5年8月28日

西部農林水産振興センター大田農業部

標 題	GAP研修会「改めて学ぶ、農薬の正しい知識」を開催しました
-----	-------------------------------

(ダイジェスト)

大田市管内のGAPに取り組む生産者を対象に、令和5年度第二回大田市GAP研修会「改めて学ぶ、農薬の正しい知識」を開催しました。ラベルの読み方等の基本的な知識のほか、マスクのつけ方といった農薬の安全な使い方について理解を深めました。

大田市内でGAPに取り組んでいる生産者やこれから取り組む生産者を対象に、農薬の正しい知識を身につけ、食の安全・安心についての意識を高めることを目的に、令和5年度第二回大田市GAP研修会「改めて学ぶ、農薬の正しい知識」を開催しました。メイン会場はJAしまね石見銀山地区本部とし、zoomを活用したリモート会場を大田市温泉津町井田まちづくりセンターに設けて、当日は生産者を中心に45名の出席者がありました。

研修会では、(公財)緑の安全推進協会の講師にご講演いただき、農薬の役割、ラベルの読み方、ローテーション散布の意味など、基本的なことから、農薬の剤型の種類や剤型に応じた希釈方法、展着剤の使い方など幅広く学ぶことができました。普段聞くことのできない情報もあり、熱心に耳を傾ける生産者の姿が印象的でした。

研修会後に行ったアンケートでは、「日頃不安に思っていたことが解消された」「希釈方法について初めて知ることができた」といった内容についての好意的な意見のほか、「リモート会場が設けられて参加しやすかった」などの開催方法についても好評でした。一方で、「もっと早く知りたい情報であった」という意見もあったことから、生産者からのニーズを把握しながらタイムリーに研修会を開催する重要性について再認識させられました。今後も定期的に研修会を開催し、GAPを通じて生産者の経営改善につなげられるように支援していきます。



研修会の様子 (メイン会場)



リモート会場 (井田まちづくりセンター)